

セミの鳴き声を 聞いて記録しよう

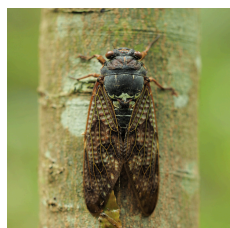
セミは、幼虫時代の数年を土の中ですごします。
遠くに行くことができないので、その土地の環境の変化をじかに受けてしまいます。そのため、環境のバロメーターとして注目されています。
夏休み、セミの鳴き声に耳をすませて、身近にどんなセミがくらしているのか、学んでみましょう！



都市近郊の公園などで身近に見られるセミ

写真・喜多英人

1 アブラゼミ



- ・ごく身近に見られるセミ
- ・つやのない黒い体
- ・茶色のまだらもようの翅
- ・中型でおよそ 5～6 センチ

▶ 鳴き声



4 ミンミンゼミ

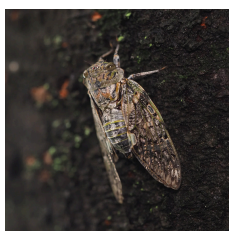


- ・セミを象徴する鳴き声
- ・鮮やかなグリーンと黒のまだら模様の体
- ・透明に黒のまだらのある翅
- ・中型でおよそ 5～6 センチ

▶ 鳴き声



2 ニイニイゼミ



- ・7月はじめ頃から鳴き始める
- ・灰色の体
- ・灰色のまだらもようの翅
- ・小型でおよそ 3～4 センチ

▶ 鳴き声



5 ツクツクボウシ



- ・夏休みの終わりが近づく頃に鳴き始める
- ・灰色の体
- ・透明にごく少しまだらのある翅
- ・アブラゼミよりも小さく、およそ 4～5 センチ

▶ 鳴き声



3 クマゼミ



- ・大きな鳴き声
- ・黒光りする大きな体
- ・透明の翅
- ・大型でおよそ 6～7 センチ

▶ 鳴き声



6 ヒグラシ



- ・朝早くや夕方に鳴く
- ・茶色にグリーンの縁どりされた体
- ・透明に少しまだらのある翅
- ・アブラゼミよりも小さく、およそ 4～5 センチ

▶ 鳴き声



調査方法

次のページの表をつかって、セミの鳴き声を記録しましょう。

「同じ時間に記録する」「ふだん聞かない鳴き声が聞こえたら記録する」など、自分なりにルールをきめて調査してみましょう。上の6種ではない鳴き声が聞こえたら「セミ 鳴き声」などウェブサイトで検索して自分でしらべてみるのもおもしろいかもしれません。

セミの鳴き声日記

なまえ _____

月日	時間	気温	聞こえた場所	セミの種類	気が付いたこと

まとめ（わかったこと・ぎもんにおもったことなど）